

令和5年度萬鉄五郎記念美術館収蔵美術品等審査委員会会議録

1 開催日時

令和6年2月16日（金） 午前11時～午後11時30分

2 開催場所

花巻市萬鉄五郎記念美術館隣 八丁土蔵

3 出席者

（1）出席委員5名

市川委員長（花巻市生涯学習部長）、平澤副委員長（花巻市生涯学習部萬鉄五郎記念美術館館長）、
藁谷委員（岩手県立美術館館長）、斎藤委員（萬鉄五郎記念美術館運営委員、岩手町立石神の丘美術館
芸術監督、作家）梅原委員（花巻市生涯学習部生涯学習課長）

（2）欠席委員0名

事務局2名（萬鉄五郎記念美術館）

滝浦上席主査、高橋学芸員

事務局(滝浦上席主査)

定刻にはまだ早いですけれども、出席の皆様おそろいになりましたので、ただいまから萬鉄五郎記念美術館収蔵美術品等審査委員会を開催いたします。

事務局(滝浦上席主査)

それでは生涯学習部市川よりご挨拶申し上げます。

市川部長

本日はお忙しいところ、天気も悪い中お越しいただきましてありがとうございます。

この委員会は萬鉄五郎作品について購入または寄贈打診があったときに、当美術館の収蔵品にふさわしいものかご審議いただく会でございますので、本日はよろしく願いいたします。

美術館は来年度開館 40 年を迎える年度になりますが、施設もなかなか古くなっておりまして、空調を今年度改修をしておったんですが、資材が入らないという予想できなかったようなことがありまして、いま暖房が入らない状況です。そんな中で展示もやっておりますが、来ていただいた方にはこういう状況なので、臨時で入館料をとらずにやっている状態です。

なかなか市の施設もたくさんございまして、生涯学習部というのはいへん施設を抱えているところでございますが、萬鉄五郎記念美術館は美術品につきましてはできるだけ購入していくような方針で頑張っておりますので、忌憚のないご意見をいただきながらご支援いただきたいと思います。本日はよろしく願いいたします。

事務局(滝浦上席主査)

当美術館館長平澤からご挨拶申し上げます。

平澤館長

昨日までの春が一変して寒くなって雪の中ありがとうございます。今部長がお話ししたように空調設備の機械は全部入っているんですけども機械をつなぐケーブルが、全国的に需要が高まり去年の秋から受注停止という、血管が通っていないような状態になっていまして早くなんとかしてもらわないと困るなと思っています。

後今回購入しようとする作品ですけれども初期の作品、美術学校晩年の頃の作品かなとは思いますが。

ご覧いただいて忌憚のないご意見いただきたいと思います。

それから、購入予定作品とここに同期か、その前後になると思われる当美術館で所蔵している作品を

参考に並べています。また、『萬鉄五郎画集』と「没後 90 年萬鉄五郎展図録」に今回の購入予定作品が掲載されておりますので参考にしてください。

事務局(滝浦上席主査)

それでは議事の方に入らせていただきます。この後の議事の進行については、萬鉄五郎記念美術館収蔵美術品設置要綱第 5 条の規程の規定により市川部長に委員長をお願いして、進行をお願いいたします。

市川委員長

それでは議事に入ります。報告事項、令和 5 年度萬鉄五郎記念美術館収蔵美術品について、事務局から、説明をお願いします。

<事務局より今年度購入を検討している作品について、経過説明>

平澤副委員長

このサイズからすれば、400 万くらいがいいところかなという感じはするんだけど、300 万できたものですから結構安いという気はしています。

藁谷委員

私興味のある作品で萬鉄五郎記念美術館所蔵の『盛岡住吉神社風景』がありますよね、遠近法といいますかね一つのラインが斜めに走っているんですけど、住吉神社のまっすぐのところ、私小っちゃい頃ですね記憶あるんですよ。近景と遠景の走るところ、ラインていいですかね丘の上に〇〇があったんじゃないか。並べて飾ることもあるでしょうから非常に意義のある買い物だと思います。

斎藤委員

これはどうして署名がないのでしょうか。まだ途中だという意思表示でしょうか。

藁谷委員

1点ずつじゃなくて何点か（制作を）同時に進めてるのではないのでしょうか

全部書き上げてから次というのはあまりないと思います

平澤副委員長

この点々、点々と筆のタッチを打っているんですが、向こう側の空間をちゃんとそれでうまく捉えている。そういうところは萬はけっこう見えたとおりに描いている。

藁谷委員

かなりパレットの中に絵の具があちこちあって、色々描くのかなと思うんですけど。しっかり絵の具を混ぜるんでしょうけど

平澤副委員長

パターンとして、萬は紫を目立たないけども使っています。

萬は筆目がきれいなんですよね。油絵が画面では混色したり素人だと中でぐちゃぐちゃ混ぜて混色させてしまうところを、萬はテクニックというか、普通の技法として身に着けている。パレットで色を作れる人、自分の思った色が作れるのが萬鉄五郎だと思っています。

裏には何も書いていませんでした。タイトルが「霜の朝」ですが、この作品を見ても誰もが「霜の朝」と思えないと思います。『萬鉄五郎画集』にも「霜の朝」で紹介されているので、当時からこのタイトルがついていたということは、おそらく萬家にあって萬家でこのタイトルから伝わっていたのじゃないかとじゃないと霜なんて分からないですよ。

藁谷委員

この額は元々ついていたのですか。

平澤副委員長

(額装された)状態で美術館にきましたが、後からつけた額だと思います。

市川委員長

それでは、質問意見については終了といたします。

今回のこの作品につきましては審査委員会としては購入が妥当なものということでよろしいでしょうか。

<異議なしの声>

市川委員長

ありがとうございます。それでは以上で議事を終了いたします。

事務局(滝浦上席主査)

ありがとうございました。以上をもちまして萬鉄五郎記念美術館収蔵美術品等審査委員会を閉会いたします。